

FUKAURA

2025

8

- 広報ふかうら -

VOL.245



祭りだ！わっしょい！



深浦町は、旧深浦町と旧岩崎村が合併し、平成17年3月31日に誕生。
令和7年3月31日に合併20周年を迎えました。

行政情報はHPから！

遊泳者の安全を祈願



7月15日（火）、岡崎海岸で海開き安全祈願祭が行われ、出席した関係者11人が水難事故の防止と遊泳者の安全を祈願しました。

昨年までは、古くから船人から信仰を集め海上安全の祈願寺としてたくさんの船絵馬などが奉納されている円覚寺で行われていましたが、今年は11年ぶりに岡崎海岸で開催されました。安全祈願祭では平沢町長が「子どもたちにとっては待望の夏休みがやってきます。子どもたちをはじめ多くの方々に、きれいな海で思う存分楽しんでいただきたい」とあいさつ。

安全祈願祭の後、青い鳥保育園とえの木保育園の園児12人が天然海水プールで2025年の初泳ぎをしました。園児たちは浮き輪などを手に海へ入ると海水をかけあったり、海藻や海の生き物を観察するなど、海水浴を楽しんでいました。環境省水・大気環境局が公表している水浴場水質検査によると、岡崎海岸の水質は最高ランクのAA判定でした。

町内には会場となった岡崎海岸のほか、千畳敷海岸や森山海岸など、日本海の素晴らしい景観を楽しめる海岸が多く点在していることから、多くの海水浴客の訪れを期待したいところです。



海水浴を楽しむ園児たち



関係者によるテープカットセレモニー

関地区

有志による夏祭り開催

7月12日、関福祉センターで地区の有志による夏祭りが開催されました。

以前は地区の子ども会で開催していた夏祭りですが、少子化の影響で子ども会が解散したことに伴い開催されなくなっていました。地元を盛り上げるため地域の有志が協力し、10数年ぶりの復活となりました。

会場には、おでんや焼き鳥、サザエのつば焼き、かき氷、ヨーヨー釣りといった出店が用意され、地元住民や地区の小学生など150人ほどが集まりました。

祭りではお神輿も準備され、地元の子どもたちがお神輿を担ぎ「わっしょい！わっしょい！」と掛け声を上げながら会場内を練り歩きました。参加した子どもたちは「初めてお神輿を担いだ」「重かったけど、楽しかった」と一足早い夏祭りを楽しんでいました。夏祭りを開催した有志代表の牧野祥侑さんは「地域に盛り上がってほしくて開催した。たくさんの方が集まってくれて嬉しい。来年以降も継続していきたい」と意気込みを語っていました。



ヨーヨー釣りを楽しむ親子



お神輿を担ぐ子どもたち

深浦の魚を食べよう！

お魚料理教室開催

7月10日、魚介類のおいしさや魚に親んでもらおうと、大戸瀬中学校で深浦産のカワハギやアジ、イカ、また、ふかうら食品（株）、青森県はたて流通振興協会より提供のあった塩蔵わかめ、つるつるわかめ、ベビーホタテを食材にしたお魚料理教室が開催されました。

今回のお魚料理教室は、総合的な学習の授業として開催され、大戸瀬中学校の3年生17人が、新深浦町漁協北金ヶ沢地区女性部の方々にお手本を見せてもらい、捌き方のポイントを教えていただいた後、生徒たちが挑戦。悪戦苦闘しながら楽しくカワハギやアジ、イカを調理しました。

完成した料理は、生徒や先生、協力した新深浦町漁協北金ヶ沢地区女性部の方々でおいしくいただきました。生徒からは、「3枚におろすのが難しかった」「自分たちで捌いたカワハギとアジのフライがおいしかった」などの声が上がります。深浦の魚のおいしさを知るとともに、地域食材を通じて料理の楽しさも感じていたようでした。



イカを捌く生徒たち



三枚おろしのやり方を教えてもらう生徒たち

400年の歴史

岩崎地区花上げ踊り

7月15日、岩崎地区で約400年続く郷土芸能の花上げ踊りが行われました。

赤い衣装を着て化粧をした男衆6人が、太鼓や笛の演奏に合わせてスギの枝と扇子を手に手足を高く上げて、雨乞いをする花上げ踊りを披露しました。踊りは、武甕槌神社、陸奥岩崎駅、特別養護老人ホームサンタ園の3か所で踊りが披露されました。

陸奥岩崎駅では、地域の住民が毎年恒例の花上げ踊りを一目見ようと集まり、厳しい暑さの中で踊りを披露した男衆に拍手を送っていました。

花上げ踊り・産土講保存会の脇本正司会長は「直前まで雨予報だったが、無事に晴れて奉納することができてよかった。会員は少なくなりましたがこれからも続けていきたい」と語りました。



花上げ踊りを奉納する男衆



サンタ園の入居者たちと記念撮影

円覚寺例大祭

7月16日、円覚寺で例大祭が開催され、柴燈護摩や火渡りの行などが行われました。熱した炭を敷き詰めた道を歩く火渡りの行には、大人だけでなく小学生や中学生も参加し熱い炭の上を歩いていました。

境内には特設ステージも設置され、円覚寺観音講主催で地元有志によるイベントなども行われました。円覚寺前にはたくさんのお店も並び、大人から子どもまで多くの人が訪れ、賑わいを見せていました。



火渡りの行

ステージイベントを盛り上げた地元有志のみなさん



行政相談をご利用ください

総務省は、令和7年7月1日付で、深浦町の行政相談委員に秋元勇氏を委嘱しました。

住民の皆さんが毎日の暮らしの中で、行政の仕事についての苦情や意見・要望などがあつたとき、身近な相談相手になるのが行政相談委員です。

- ・苦情を直接申し出にくい
 - ・どこへ申し出たらよいかわからない
 - ・苦情を申し出たがその措置に納得できないなど
- 相談は無料で秘密は厳守しますの

で、お気軽にご利用ください。

【相談日】

8月29日（金）9時～12時

場所・大戸瀬支所

※右記相談日は、人権相談所も合同で開設しています。

■問合せ先 町民課町民生活係

TEL・74-2115

(内線152)



行政相談委員
秋元 勇氏

ふるさと納税で町を元気に!

ふるさと納税とは?

故郷や応援したい自治体など居住地以外の自治体に寄附をすると、寄附金のうち2,000円を超える部分について、控除限度額（個人の所得により異なる）まで住民税等の控除を受けられる仕組みであり、地域の活性化や地方創生に大きく寄与する制度として、多くの方々にご理解とご支援をいただいています。

特に、町外にお住まいの親族や友人の皆様には、ぜひこの制度を活用して故郷への想いを形にし、地域づくりにご参加いただけますと幸いです。

深浦町ふるさと納税の申込み方法・返礼品

9つの寄附サイトから申込みできるほか、オンラインの申込みが苦手な方には、寄附申込書や返礼品カタログなど書類一式を郵送します。

詳しくは、下記のQRでご確認いただくか、電話（メール）で総合戦略課にお問い合わせください。

寄附金の主な活用例

■移住・定住・交流事業補助金 **410万円**
移住者、新婚夫婦及び子育て世代の住宅整備補助、家賃補助等に活用しました。



寄附者から届いた 応援メッセージ

▶美味しいもの沢山の出身地なので返礼品を選ぶのも楽しいです。これからも町を応援しています。（宮城県）

■小・中学校図書購入 **140万円**
管内小・中学校の図書を充実させるため、図書購入費に活用しました。



▶深浦出身です。未来を担う子どもたちのためにお役立てください。（千葉県）

■お問合せ先
総合戦略課
電話 0173-74-2122
メール furusato_nouzei@town.fukaura.lg.jp

ふるさと納税についてはこちら



空き家でお困りの方はご相談ください

空き家バンク登録申請お手伝いします

面倒な書類集めや書類作成は、**グットイグナル**におまかせください!
空き家バンク登録者成約者増えています!

〈ご相談の際は、固定資産税課税明細書をご用意ください〉



宅地建物取引業 青森県知事(1)第3641号

グットイグナル

代表 山崎 麻美

〒038-2504

深浦町大字北金ヶ沢字塩見形272-14

TEL:0173-82-0813 FAX:0173-82-0814

公式サイトはこちら



登録者募集!

あおりマッチングシステム「AI(あい)であう」は、あおり出会いサポートセンターが運営する結婚を前提とした出会いを希望する方のためのマッチングシステムです。深浦町では、町民の方の利用登録料の全額助成を行っており、登録を支援しています。詳しくは役場総合戦略課までお問い合わせください。



■問合せ先
総合戦略課
TEL74-2122

まちかど

ウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
 深浦町総合戦略課 企画調整係
 電話 74-2122



給食を食べる認定こども園および保育園の園児たち

町内の保育園で給食費の無償化開始

深浦町では、子どもたちの食育の推進と保護者の負担軽減を図るために、7月1日から「深浦町保育所等主食費補助金」を開始しました。町内の保育園・子ども園に、3～5歳児の人数分の主食費（お米など）を補助し、園内で炊飯を行い、炊き立てのご飯を子どもたちに食べてもらえるようになりました。昨年10月から行っている「町保育所等副食費無償化補助金」では、給食のおかずに係る費用を補助しており、今回、主食費の補助を開始したことで町内の保育施設に通う3～5歳児の給食費無償化を達成することができました。

7/1～

深浦町赤十字奉仕団総会・研修会

深浦町赤十字奉仕団総会及び研修会が役場町民文化ホールで行われました。総会には46人が出席し、総会後の研修会では炊飯袋（ハイゼックス）を使用した非常食作りや役場総務課の福田危機管理専門員から、深浦町の地震と津波に関する講話を受け、講話後には、段ボールベッドとポップアップテントの組立・設置体験を行いました。

昼食では、研修会で自分たちが準備した炊飯袋（ハイゼックス）で炊いたお米と岩崎地区奉仕団によるカレーの炊き出しを行い、有事の際の対応を確認しました。



避難時用のポップアップテントの設置を体験する参加者たち

7/2



〇×クイズの回答を考える児童たち

租税教室が行われました

修道小学校の6年生を対象に、町の税務担当職員が講師となって租税教室が開催されました。授業では「税金の使い道」「税の役割・種類」「税金の必要性」などについて、〇×クイズを交えながら楽しく学びました。また、「税金のない世界」について、アニメを見ながら考え、自分たちの生活においてさまざまなところで税金が役立っていることも学びました。児童たちは「1億円の税金があったらどうしますか？」と質問されると、「給食を豪華にする」「水道代を無料にする」と答えていました。授業の最後では、1億円の札束の見本が用意され、児童たちは実際に持ってみてその重さに驚いていました。

7/3

モンベルフレンドフェアin横浜へ出展



神奈川県横浜市（パシフィコ横浜）において【モンベル創業50周年記念祝賀会】が開催され、平沢町長が宮下県知事ほか、白神関連町村長とともに参列しました。また、同会場で引き続き【モンベルフレンドフェア】が開催され、「フレンドエリア白神山地（深浦町）」の当町ブースでは、アオーネ白神十二湖が【ふかうら雪人参ジュース】と【青池サイダー】の試飲販売を行ったほか、雪人参関連商品も販売。加えて、町のPR動画放映や町ガイドブック1,000部を配布するなど、2日間で約16,500人が訪れた来場者へ白神・十二湖の効果的なPRができました。

令和8年1月31日（土）・2月1日（日）には同様のフェアが青森市マエダアリーナにおいて開催予定です。

7/5・6

地域の未来を考えよう

大戸瀬中学校の3年生17人が、今年から岩崎地区の集落支援員として活動している浪岡支援員から、地域に関わる仕事を通じて感じる魅力や課題などについて講話を受けました。

浪岡支援員は集落支援員という制度の概要や自身の生い立ち、今までの経歴などを説明。地区ごとの高齢化率の現状や集落支援員に着任する前に行っていた地域おこし協力隊としての活動実績、その中で感じたことを生徒たちへ伝えました。

講話後は、浪岡支援員の経験を生かしたうどん教室も開催され、生徒たちは初めてのうどん作りを楽しんでいる様子でした。

7/7



出場する選手の皆さん

県民体育大会壮行式

町民文化ホールで第78回市町村対抗青森県民スポーツ大会へ向けた壮行式が開催されました。

深浦町からは昨年優勝したママさんバレーや相撲、ゲートボールの3種目のほか、軟式野球やサッカーなど10種目に出場します。平沢町長から選手団団長の深浦町スポーツ協会会長の柴田一喜さんへ団旗が伝達された後、選手代表として陸上競技の佐藤大樹さんが選手宣誓を行い、それぞれの種目において試合への決意を新たにしました。

大会は7月19日、20日、21日、26日、27日に行われ、各種目の結果や総合成績は来月の広報で紹介する予定です。

7/8

有害鳥獣対策用の花火が贈呈されました

この度、つがるにしきた農業協同組合から深浦町へ、ロケット花火835袋（16,700本）が寄贈されました。つがるにしきた農業協同組合の山中組合長は「有害鳥獣の追い払い、農作物被害の軽減に役立ててください」と、平沢町長へ目録を手渡しました。目録を受け取った平沢町長は「有害鳥獣対策の推進にご協力いただき、ありがとうございます」と感謝を述べました。

寄贈いただいた花火を役場本庁舎及び大戸瀬支所、岩崎支所に配置し、有害鳥獣被害にお困りの方に配布するなどして、有効に活用させていただきます。

7/8



平沢町長に目録を手渡し、つがるにしきた農業協同組合の山中組合長(右)



海の生き物とふれあう子どもたち

海の生き物たちについて学ぶ

7 / 9

自然の神秘さや不思議さを学んでほしいと、青い鳥保育園で数年ぶりに自然体験学習「わくわく体験シリーズ 海の生き物とふれあおう！」が開催されました。

園内のホールに、日本自然保護協会自然観察指導員の永澤量さんが事前に岡崎海岸で捕まえてきたイソガニやイシダタミ、ヤドカリなどの生き物や海藻など10種類以上が用意されました。

子どもたちは永澤さんから捕まえてきた生き物の名前などについて説明を聞いた後、それぞれ興味のある生き物に触れていました。子どもたちは海の生き物に興味津々の様子で水槽をのぞき込んで生き物を観察したり、実際に手に取ったりして海の生き物とのふれあいを楽しんでいました。

中村さん、100歳を迎える

7 / 11

グループホームトント園に入所している中村リヨノさん(大間越)が100歳を迎え、施設の職員や入所者からお祝いされました。中村さんは1925(大正14)年、八峰町生まれ。グループホームトント園の入所者として初めて100歳を迎えました。

中村さんは、楽しいことや面白いことが大好きで、ザ・ドリフターズのDVDを手を叩いて笑いながら鑑賞しているそうです。普段の生活でも、施設の職員に冗談を言ったりしながら笑って過ごしているそうです。

この日100歳を迎えた中村さんへ、施設の職員から金の箸とお祝いのケーキが贈られ、少し照れた様子でしたが、とても嬉しそうにしていました。



100歳を迎え、施設の仲間から祝福される中村さん

令和7年度深浦町の森林を活かす林業実践セミナー開幕！

7 / 16



講師の古川大輔代表取締役

林業事業者の経営力および技術力の向上を図るとともに、豊富な森林資源を有効利用するための具体的な手法を探るため、株式会社古川ちいきの総合研究所 代表取締役の古川大輔氏を講師に迎え、「令和7年度深浦町の森林を活かす林業実践セミナー」を開催しました。

古川先生の豊富な知識と経験に基づく、林業に「ビジョン」や「マーケティング」といった新たな視点を取り入れたお話は、深浦町の林業関係者にとって、新たな気づきや具体的な実践へのヒントを与えてくれました。

受講者から、「林業にロマンという発想に驚いた」、「改めて自分の頭の固さに気付いた。柔軟な発想が必要だ」などの声が聞かれました。本セミナーは4回にわたって開催され、今回はその第1回目です。

事業承継について学ぶ商工業者向け地域合同セミナー 開催

7 / 17

町と町商工会は地元金融機関と連携を図り、事業承継に係る情報や経営者の高齢化、後継者不在といった問題を共有し、解決することを目的に深浦町地域合同セミナー・相談会を開催しました。

共催する(公財)21あおり産業総合支援センター等の各種団体から講師を招き、青森県内の現状、事業承継に係る支援を紹介いただきました。

23名の参加者からは、「簡潔でわかりやすく、よかった」「後継者問題に関心があり、また参加したい」といった感想が寄せられました。今回参加できなかった方でも、町では個別相談を受けますので、観光課までお気軽にお問合せください。



高齢者帯状疱疹ワクチン定期接種について



深浦診療所 医師 加藤 昇

今回は、4月から定期接種となっている高齢者帯状疱疹ワクチンについてお話しします。当診療所でワクチン接種を希望する方は順調に増加しており、診察中にワクチンの選択や接種時期について相談を受けることがあります。改めて皆様に、情報を整理し、医学的観点からお伝えいたします。

まず、定期接種の対象者は2025年度内に65歳を迎える方です。そのほか、今後5年間の経過措置として、その年度内に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方が対象となります。100歳以上の方は2025年度に限り全員が対象です。対象者には町から案内が届いていると思います。これ以外の方のワクチン接種は、従来どおり任意接種（助成なし）となります。

そのワクチンには2種類あり、違いは次の表のとおりです。

| | 乾燥弱毒生水痘ワクチン (生ワクチン) | 組換え帯状疱疹ワクチン (組換えワクチン) |
|---------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 接種方法 | 皮下に接種 | 筋肉内に接種 |
| 接種回数と間隔 | 1回 | 2回 (2か月以上の間隔をあける) |
| 自己負担額※ | 3,641円 | 10,141円×2回分 |
| 予防効果 | 接種後1年 60% 接種後5年 40% 接種後10年 - | 接種後1年 90% 接種後5年 90% 接種後10年 70% |

※深浦町民が当診療所で接種する場合

このほかに、ワクチンの種類を選ぶ際には注意が必要な点があります。それは、生ワクチンは弱毒化されているものの、病原性をわずかに残しているため免疫機能に異常のある疾患を持つ方や、ステロイド、抗がん剤、メトトレキサートなど免疫抑制を引き起こす治療を受けている方には接種できないことです。

副反応についてはどちらのワクチンでも見られますが、一般的に組み換えワクチンの方が接種部位の痛みや腫れが強いと言われています。以上のことから、予防接種の目的である発症および合併症の予防の観点から、組み換えワクチンの選択が望ましいと考えられます。80歳までに全人口の3分の1が発症するという研究結果もあり、いずれのワクチンを選択する場合でも接種をお勧めします。

当診療所での接種を希望する方は、来所されるか電話予約(82-0337)をお願いします。

ただし、生ワクチンを希望する場合、電話予約では病歴や服用薬剤の情報が正確に把握できず、当日接種できない場合があるため、来院して相談した方がスムーズな接種が可能です。



らしかるで、転倒予防&認知症予防!

新規ご利用者様 募集中!

介護予防に!

いつまでも健康でいたい!

病院退院後のリハビリに!



夕陽公園 ●
 深浦港 ●
 みちのく銀行 ●
 ●青森銀行
 JR 深浦駅

社会福祉法人 西寿会
 リハビリ特化型デイサービス

リハジム **Lascal**
 らしかる

まずはお電話を TEL0173-82-0551
 青森県西津軽郡深浦町宇浜町137-1
<http://www.hamanasuso.com>

深浦町文化協会活動中!

文化協会主催事業を紹介します

文化協会では、会員相互の見識を高めまた親睦を深めることを目的に様々な事業を実施しています。今回は、「町外研修」について紹介します。

☆町外研修

町外研修には7団体24名が参加しました。五所川原市金木町 太宰治記念館「斜陽館」の見学と「津軽三味線会館」での津軽三味線の鑑賞。その後、当町柳田地区出身の櫻庭氏の私設「櫻庭利弘美術館」では、絵画を鑑賞した後、懐かしい思い出話に花が咲き、最後に「町に美術館があることは、誉れである。みなさん誇りに思ってください。」とお褒めの言葉を頂き、町の素晴らしさを再認識することができました。

昼食は、津軽鉄道芦野公園旧駅舎を活用した 赤い屋根の喫茶店「駅舎」で特製ビーフカレーを頂きました。



太宰治の生家「斜陽館」見学



迫力ある津軽三味線に拍手喝采



絵画と深浦町での思い出話で大盛り上がり



駅舎を活用した喫茶店で昼食

【文化協会からお知らせ】

文化協会では、加入団体を募集しています。パッチワーク・エコクラフト・編み物など趣味で個人や団体を活動している皆さん、文化協会に加入し、いっしょに活動しませんか。お待ちしております。

□問合せ先 深浦町文化協会事務局（深浦町公民館内） TEL 74-2031

防災コーナー



調印の様子



地域防災力向上の取組に関する連携協定を結んだ五所川原圏域2市4町とNTT 東日本株式会社青森支店

●ご紹介する内容

7月3日に行われた、五所川原圏域2市4町とNTT東日本株式会社青森支店との地域防災力向上の取組に関する連携協定についてお知らせします。

今年の2月から五所川原圏域2市4町(五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町)とNTT東日本株式会社青森支店とで地域防災力向上検討会を実施してきました。多様化・激甚化する自然災害への対応は、単一の自治体では限界があるとの意識を共有し、近接する自治体と、通信やデジタル技術に長けたNTTとの相互協力により、①行政区域を超えた安全で迅速な住民避難の実現を目指す「広域避難体制の整備」、②圏域内の物資シェアリングによる避難生活の更なる質向上を目指す「避難所環境の向上」、③住民を巻き込んだ防災訓練を通じて自助・共助・公助の意識醸成による「防災実践力の向上」の3つを重要項目に揚げ、具体的な方策について、引き続き議論を重ねながら、町民の皆さまの安心・安全な暮らし実現に向けて取り組んでいきます。

—つがるオフショアエナジー合同会社からのお知らせ—



キッズ東北初開催！ Kidsジョブチャレンジin津軽 ～夢中になれるリアル職業体験イベント～

日時：10月18日(土)-19日(日)午前10時～午後5時(予定)
開催場所：つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町(全域)
※各市町ごとにメイン会場&リアル開催場所(サテライト) 予定
対象：つがる市・鱒ヶ沢町・深浦町を中心とした小中学生
定員：約300人(事前予約制)
料金：1,000円程度 ※別途材料費が必要なプログラムあり
HP：<https://kidsjobchallenge.com/tsugaru/>

今年の秋、つがる・鱒ヶ沢・深浦の3地域で、子どもたちが本物の職業を体験できる特別なイベントが開催されます！その名も——「Kidsジョブチャレンジ」！つがるオフショアエナジー合同会社は、洋上風力事業における地域振興の一環として、日本最大手の旅行会社であるJTBとコラボレーションをします。

憧れの仕事にチャレンジして、プロの世界をのぞいてみよう！体験したお仕事のあとは、なんと“専用通貨”でお給料がもらえます。地域の協力店舗で実際にお買い物もできちゃう、まるで本物の社会人みたいな体験ができます！この秋、ご家族みなで「Kidsジョブチャレンジ」に参加しませんか？お子さまの「やってみたい！」がきっと見つかる、ワクワクがいっぱいの1日をお届けします！

申し込みは、9月12日(金)から先着順で、ホームページ
<https://kidsjobchallenge.com/tsugaru/>
VIEW MORE →
([Kidsジョブチャレンジin津軽]で検索)で受け付けます。



問い合わせ先

Kidsジョブチャレンジin津軽事務局(JTB BS第二事業部内)
【MAIL】kidsjob_tsugaru@jtb.com
【TEL】03-5909-4966

役場の窓口を紹介します

【福祉課 介護保険係】

介護保険制度は、市町村が保険者となって運営しています。40歳以上の皆様は、加入者（被保険者）となって保険料を納め、介護が必要になったとき、費用の一部を支払ってサービスを利用できる仕組みです。

○65歳以上の人（第1号被保険者）

原因を問わず介護や日常生活の支援が必要になった時、市区町村の認定を受け、サービスを利用できます。

介護保険料の支払いは、年金から保険料が天引きされる特別徴収と、納付書に基づき保険料を納付する普通徴収があります。

○40歳以上65歳未満の人（第2号被保険者）

老化が原因とされる病気（特定疾病）により介護や支援が必要となったとき、市区町村の認定を受け、サービスを利用できます。加入している医療保険の保険料に上乗せして納めます。

介護保険サービスを利用するためには、

1 介護保険の申請をします。

・申請は、役場福祉課介護保険窓口で行います。その他、地域包括支援センター、大戸瀬・岩崎両支所や、※居宅介護支援事業所窓口でも申請の代行ができます。

・申請に必要なもの

要介護認定申請書（窓口、ホームページにあります）、介護保険証（オレンジの保険証です）

※社会福祉協議会（深浦）74-3111、はまなす介護相談センター（巖木）82-0515、在宅介護支援センターしらかみのさと（岩坂）84-3020、サント園介護支援センター（岩崎）77-2020

2 認定調査を受けます。

・深浦町職員や、町から依頼を受けた介護支援専門員（ケアマネジャー）が自宅を訪問し、心身の状況について、本人や家族から聞き取り調査を行います。

・主治医から心身の状況についての意見書を作成してもらいます。

申請をすると、主治医の意見書の作成依頼を町から出しているのので、受診の時に作成してもらえます。

3 専門家が審査します。

・聞き取り調査と主治医からの意見書をもとに、介護認定審査会で審査し、介護が必要な度合い（要介護状態区分）の判定が行われます。

4 認定結果が通知されます。

・判定に基づき、町が介護の必要な度合い（要介護状態区分）を認定し通知します。認定結果通知書と、認定結果などが記載された保険証が郵送されます。

5 サービスを利用します。

・認定結果が通知されたら、ケアマネジャーに介護サービス計画（ケアプラン）を作成してもらいます。

・費用は、1か月でかかったサービス費用の1割から3割です。

■お問合せ先 福祉課 TEL 74-2117

稲見塗装店

塗り替え住まいのリフォーム

電話で簡単見積もり

高齢者 10%割引

信頼・安心の保証書付き

深浦町大字北金ヶ沢

TEL 0173-76-3064

FAX 0173-76-3074

携帯 090-2021-7121

「農地の所有権移転・地目変更・転用許可申請」・
「遺産分割協議」等々
行政事務にかかわる「お悩み」のことについて、
お気軽にご相談を！！

行政書士 岩谷司事務所

【青森県行政書士会所属】

住所 038-2501 青森県西津軽郡深浦町大字柳田字築棒沢133番地11

電話・FAX 0173-76-2753

F-ミーティング 実施グループ募集中！！

深浦町のこれからをみんなで語り合ってみませんか？
町長と地域の活性化・住みよくなるさづくりなど、よりよい町づくりのための意見交換を行いたい5～10名程度のグループを募集しています。興味のある方は申込・問合せ先までご連絡ください。

□ 申込・問合せ先
総合戦略課 TEL 74-2122



平沢町長が、深浦町の魅力を発信するF-tube！
深浦町の魅力が伝わるチャンネルを目指していきますので、ぜひチャンネル登録をよろしくお願いします。



十二湖内
森の物産館キョロロ

青池がきれいな時期です！
そして、ソフトクリームが美味しい季節です！
森の物産館キョロロのおすすめは『青池サイダーソフト』！
鮮やかなブルーとサイダーのシュワシュワ感が爽やかなソフトクリームです。他にもお菓子や雑貨等も販売しておりますので、散策の際はぜひお立ち寄りください！
キョロロ営業時間▶9:00～17:30(ソフトクリームは10:00～16:00)



アオーネ白神十二湖
深浦町大字松神字下浜松 14

お問い合わせ・ご予約は
0173-77-3311
※8:30～17:00

十二湖情報更新中/
Instagramは
こちら▶



通夜情報・お悔やみ時のマナー・知識等が配信されます！

* 従業員募集中

LINE 公式アカウント

スマホのカメラかLINEで読み取り
「友だち追加」して下さい(無料)



* 誰が登録したのか当社からは分からないので安心して下さい



株式会社 深浦葬祭
Fukaura Funeral Service

家族葬空間 ファミリーホールふかうら

式場：2会場(小・中)
霊安室：2部屋(終日)
その他：お預かり安置専用部屋(1部屋)

電話(74)4536 FAX:74-4546



たけくま動物病院 TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL 0185-89-2666
<http://www.takekuma-vet.com/>

◎診療時間

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 祝日 |
|----|------------|---|---|----|---|--------------|----|----------------|
| 午前 | 9:00~11:30 | ○ | ○ | 休診 | ○ | ○ | ○ | 10:00 11:30 |
| 午後 | 3:00~5:30 | ○ | ○ | 休診 | ○ | 3:00 4:30 | 休診 | 1:00 2:30 |

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

30分前までです
受付時間は終了の

入院施設有

往診快諾

- ペットホテル有
- 避妊・去勢手術随時受付
- 狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
- 各種検査、健康診断(血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等)

◆ 診療時間が変更になる場合がありますので電話等で確認してください



五所川原塗装工業会会員「心・技・色」

one-painted soul 一塗専心 fujiichi.bisou



藤一美装

(代表) 藤田 一哉 単一等級調色技能士

登録建設塗装基幹技能者 職業訓練指導員

地域密着型塗装店！お気軽にご連絡下さい。
※1. 2カ月前の予約・来年の塗装予約もOK！

北津軽郡板柳町大俵字和田184-1
電話0172-77-2262 携帯080-6001-1760



会社やお店の
宣伝・イベントの
告知にご利用
ください！

■ 問合せ先
総合戦略課
企画調整係
TEL 74-2122

Sunset Stage

～夕焼けに描く ぼくのわたしの夢～

何かに一生懸命取り組み、夢に向かって頑張っている子どもたちを広報ふかうらで紹介し
ます。

「好きなこと」「得意なこと」「頑張っていること」と「将来の夢」を教えてください。

対象や応募方法は次のとおりです。掲載された人には「ゆうひくんタオル」をプレゼントい
たします。皆さんからのご応募をお待ちしております。



○対 象：町内在住・在学の小・中・高校生

○応募方法：子どもの氏名（ふりがな）、学校名（学年）、
保護者の氏名、保護者の電話番号と、上記の「将来の夢」などについて100字～
200字程度で記載し、対象者の顔写真や頑張っている姿の写真を添付して電子メ
ールで提出してください。掲載候補になった人へ折り返しご連絡いたします。

提出先メールアドレス：kouhou@town.fukaura.lg.jp

※メールの件名に「SunsetStage」と記載してください。

留意事項

- ・すべての応募者が掲載されるわけではありません。
- ・掲載候補になった場合、写真撮影や取材に伺う可能性があります。
- ・応募完了のメールはお送りしません。
- ・投稿者に対する投稿料などの謝礼は発生しません。
- ・応募される方の個人情報、この企画以外には使用しません。



9月生まれのお子さんの写真を募集します!

問合せ先 総合戦略課 TEL 74-2122
E-mail kouhou@town.fukaura.lg.jp

- ◆対 象 令和7年9月に1～5歳の誕生日を迎える町内在住の子
- ◆掲載内容 子供の写真、氏名(ふりがな)、住所(地区のみ)、生年月日、お子さんに一言メッセージ(【例】「元気に育ってね!」など)
- ◆応募方法 郵送または持参の場合：プリントした子供の写真1枚に①子供の氏名(ふりがな)②生年月日③性別④住所⑤保護者名(広報には掲載しません)⑥電話番号⑦お子さんに一言メッセージを記入したものを添えてください。メールの場合：件名に「こんなに元気で」と記入し、本文に上記①～⑦を記入のうえ、写真データを添付して送信してください。応募締切は8月25日(金)です。

お詫びと訂正

7月11日発刊の広報ふかうら7月号22ページに掲載した「ちびっこチャンピオン」において、一部誤りがございました。

○「ちびっこチャンピオン」下段左からの2人目、「おおさわむぎさん」とありますが、正しくは「おおかわむぎさん」です。

以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

公共施設敷地内



子どもを受動喫煙から守る!

全面禁煙

公共施設敷地内とは庁舎内(館内)、通路、駐車場並びに駐車中の車内及び歩道なども含みます。
なお、加熱式タバコ、電子タバコ等についても同様ですの
でご遠慮ください。何卒ご理解とご協力をお願いします。

深浦町

編・集・後・記

私事ですが、先月上旬に入籍し、新しい生活が始まりました。実は昨年からすでに同棲していたので、生活環境が大きく変わったというわけではないのですが、気持ちの面では今までとは少し違うような気がしています。（うまく言葉にできませんが…）

取材で帰りが遅くなったり、土日の取材があったりと、妻には迷

惑をかけてしまうことも多々ありますが、二人で協力して楽しく過ごしていただけるように頑張っています。

いろいろと感謝の気持ちやこれからの意気込みを書いてもいいのですが、妻もこの編集後記をしっかりとチェックしているようで恥ずかしいのでこのくらいにしておきたいと思います。

町民文化

く 浜 萱 草 可 会 々

- | | |
|------------------|--------|
| 喜ばし庭のしようぶが二輪咲く | 砂子田 ツエ |
| 草芽立つ校舎くつきり唄を招く | 近藤 月子 |
| 境内の一角和む合歓の花 | 蒲田 幸子 |
| ここからが仕切り直しの梅雨明くる | 七戸 たか女 |
| 朝風や遠ち近ちの鳥置いたごと | 野呂 みちゑ |
| 桑の実を食べて指を赤くする | 岩根 千夏 |
| みさご岩いつか飛ぶ日を待っている | 近藤 金吾 |
| 軒に干すどくだみ此の常備薬 | 山本 こう女 |

戸籍の窓

6月21日〜7月20日までの戸籍届出



お誕生おめでとう

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 成田 虹心 (健登) | 田村 優羽 (和季) | 安田 穂叶 (英幸) |
| 戸 広 | 区 12 | 関 |



ご結婚おめでとう

- ♥ 工藤 勇次 (広戸)
- 澁谷 晶 (青森市)



おくやみ申し上げます

- | | | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|
| 伊藤 惠美 (90) | 福沢 真紀子 (63) | 七戸 徳治 (84) | 小山 武男 (99) | 野呂 ヒサエ (97) | 佐藤 勝四郎 (81) |
| 区 7 | 区 7 | 区 12 | 区 12 | 区 12 | 区 12 |

深浦町の人口と世帯

《7月末日現在》()内は前月比

男 …… 3,167人 (-8)

女 …… 3,494人 (-8)

計 …… 6,661人 (-16)

世帯数 3,457世帯 (-8)

深浦町の総面積 488.91km²



- | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|-------------|------------|-------------|
| 石戸谷 毅 (82) | 堀内 雄二 (54) | 堀内 隆夫 (89) | 伊藤 秀一 (86) | 七戸 房夫 (71) | 高橋 清 (84) | 大船 なつえ (95) | 草創 節 (93) | 児玉 吉因 (77) | 伊藤 八重子 (86) | 丸岡 正勝 (86) | 田中 かづこ (87) |
| 下 | 上 | 下 | 越 | 辺 | 区 | 山 | 田 | 野 | 戸 | 区 | 区 |

ちびっこ チャンピオン

「ワクワク♡ドキドキ ~夏の贈り物~」

青い鳥保育園のなかよしたち

(左から)

しちのへ みらいさん (5さい)
 いちのへ れ おくん (4さい)
 やまもと れ んくん (3さい)
 にしざき け いくん (4さい)
 にしざき な ぎくん (4さい)
 しまかわ まさむねくん (5さい)



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達のご紹介をします。

深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは誕生日を迎えたチビッコ達をご紹介します



「謎の力一踊り...こんなに元気で!」
 (横磯) R5/8/4生
 佐藤 心結ちゃん

読者投稿
掲載ページ

わあんとひろば

わあんとひろばとは...

皆さんが撮影した写真や制作した作品などを広報ふかうらへ掲載してみませんか?
 細かいルールはありません。思い出の写真やくすっと笑える写真、渾身の力作、昔懐かしい昭和・平成の写真、日常の風景や一コマなど、思い思いの写真を投稿してください。
 応募方法は以下のとおりです。皆さんからのご応募をお待ちしております。

- メールの場合：件名「わあんとひろば」と入力し、本文にコメントとペンネームを入力したうえで、掲載してほしい写真を添付して次のメールアドレスへ送信してください。
 メールアドレス：
 kouhou@town.fukaura.lg.jp
- 郵送または持参の場合：プリントした写真とコメント、ペンネームを記入したものを添えてください。

留意事項

- ・写真のご応募をもって、人物の場合は写っているご本人（未成年の場合は保護者）、もの場合は著作権者（作品の制作者等）から、広報ふかうらへの掲載について、同意をいただいたものとします。
- ・すべての応募者が掲載されるわけではありません。・応募完了のメールはお送りしません。
- ・投稿者に対する投稿料などの謝礼は発生しません。・応募される方の個人情報、この企画以外には使用しません。